

平素より防衛省・自衛隊に対し、深いご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

平成27年8月1日付けで第6代自衛隊愛媛地方協力本部長に就任いたしました大関雅宏と申します。

愛媛県における自衛官の募集、退職自衛官の就職支援、予備自衛官等の管理、そして地域との連絡調整協力などを行う地方協力本部において、本部長自身が現場に出て汗を流して勤務をしたいと考えています。そして地方協力本部の職員には「愛媛地本一丸」を捧げ、全員が連携し、協力し、地域の皆様方の期待に応えていきます。

美しい瀬戸内海や宇和海、西日本最高峰の石鎚山に囲まれて、また深い歴史と文化を有し、温暖な気候にも恵まれ、人も温かい、食事も美味しい愛媛の地で勤務できることは、私の大きな喜びであります。この喜びをかみ締めつつ、全身全霊を傾注して勤務していく所存です。

今後もし引き続き地域の皆様方のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、着任のご挨拶とさせていただきます。



第6代自衛隊愛媛地方協力本部長に大関雅宏1等陸佐が着任

部隊との連携強化

7月1日(水) 松山駐屯地において、本部長及び松山駐屯地部隊の中隊長等参加による援護担当者会を実施しました。

援護状況の説明のほか、8月27日(木)に実施される愛媛地区合同企業説明会の概要について説明しました。

会場の最後に本部長から、「愛媛地本は、退職予定者の希望を最優先に就職支援を実施していく。そのためには、これから訓練等が多くなる時期ではあるが、退職予定者が円滑に再就職するために、合同企業説明会参加を含め再就職活動への協力をお願いしたい。」と参加した中隊長に対し依頼しました。

(援護課 林)



会場の様子

「森の国安全で安心なまちづくりフェア(松野町60周年記念事業)を支援」

宇和島地域事務所は、7月26日(日) 松野町スポーツ広場で開催された「森の国安全で安心なまちづくりフェア」で、広報活動を実施しました。

「森の国安全で安心なまちづくりフェア」とは、町制60周年記念事業として、防災意識の高揚と防災知識を高めるために松野町が主催したイベントです。

当日は、台風の影響が懸念されたが、風がやや強いものの晴天の中、隊区部隊の第14高射特科中隊の支援を受け、装備車をカレンダーにして渡すと大変喜んでいただき、自衛隊に対する理解の促進と親近感の醸成を図ることができました。今回の活動が少しでも組織的募集基盤の拡充に繋がります。数年後に一人でも多く自衛隊を志願していただけることを期待しています。(宇和島 高橋)

防大1年生はじめての帰省

今春防衛大学校へ入学した松山南高校出身の上田賢太学生は、夏休みに初めて帰省し、父親の上田隆一等陸曹の勤務する愛媛地方協力本部で、入校に際しお世話になったお礼に、本部長を表敬しました。

防衛大学校での生活は、「4月は慣れなくてつらい事が多かったが、ゴールデンウィークを過ぎたあたりから楽しいことが増えてきた。」「平日と休日でオンとオフがハッキリしており、メリハリのある生活ができる。」「休日の外出が楽しい。」「等と近況を報告。ポト部に入学したことを聞いた本部長の「また、厳しい部を選んだね?」との感想には、「雰囲気を見て選びました。」「と笑顔で応じた。上田学生は久しぶりの故郷での生活を楽しみつ、高校の恩師、旧友等に防衛大学校の魅力をPRする充実した夏休みを送りました。

(募集課長)

UHI1体験搭乗

8月27日(木)内子運動公園野球場において、募集対象者及び募集協力者等40人に対し、UHI1ヘリコプターの体験搭乗を実施しました。

ヘリコプターの到来により独特のプロペラ音と風圧の迫力を体感した参加者は搭乗する前から興奮気味になり、空の散歩を終え地上に戻ってきてからは、「上空から自分の住んでいるところを見るのは初めてでいい経験ができました。」「飛行機よりもぜんぜん乗りやすくてすごく気持ち良かった。」「などという感想が寄せられました。

今後も、地域住民の方々に自衛隊を深く知ってもらおうよう、さまざま

な機会を捉えて自衛隊を広報していきます。

(募集課 廣瀬)



ヘリをバックに記念撮影

協力団体、過酷な総火演習ツアー

8月21日(金)～8月22日(土)において、愛媛県自衛隊協力団体に対し、平成27年度富士総合火力演習の見学を支援しました。

21日(金)は、早朝6時に愛媛を出発し、航空自衛隊浜松広報館(エアーパーク)を見学しました。広報館では、展示資料館と展示格納庫の多数の展示物を見学しました。前段演習「陸学、また隣接する滑走路で練習機の離発着の様子も見学することができ、航空

自衛隊の活動への理解を深めて、夜7時に宿泊地沼津に到着しました。

翌22日(土)は、晴天の中、富士総合火力演習を見学しました。前段演習「陸学、また隣接する滑走路で練習機の離発着の様子も見学することができ、航空

自衛隊の主要装備品の紹介、後段演習「島嶼部に対する攻撃の対応」での実



本部長と上田学生、上田1曹親子

弾射撃の衝撃波を肌で感じることもできる大迫力の演習を見学し、時折、大きな歓声を上げながら熱心にカメラで撮影するなど、その関心の高さが伺えました。演習が終了し、陸上自衛隊の活動の理解を深めて、その日の深夜12時に愛媛に到着しました。

今回の見学は、マイクロバスで愛媛～富士間往復計26時間、1600kmを1泊2日で移動する過酷なツアーでしたが、参加者からは「各自衛隊の活動について見学することができて、大変勉強になった。」「是非次回も見学したい。」「という意見を多く寄せて頂きました。

今後も協力団体への各種支援を行い、自衛隊に対するより一層のご理解をいただき、今後の連携強化を図っていきます。

(総務 後藤)

